


CASBEE[®]さいたま2016年版

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

評価結果

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016Ver.1.0

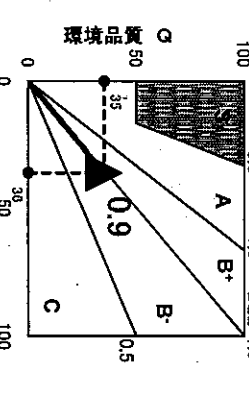
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	賛光緒機織倉庫	階数	地上2F
建設地	埼玉県児玉郡上里町大字嘉業字立	構造	S造
用途区分	無指定	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	16,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の実施日	2019年4月1日
竣工年	2019年9月	作成者	齊藤 智
敷地面積	12,991 m ²	確認日	2019年4月1日
建築面積	3,596 m ²	確認者	齊藤 智
延床面積	3,857 m ²		

2-1 建築物の環境効率 (BEE) ランク&チャート

BEE = 0.9 ★★★★★★☆☆☆☆

S:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ C:★★

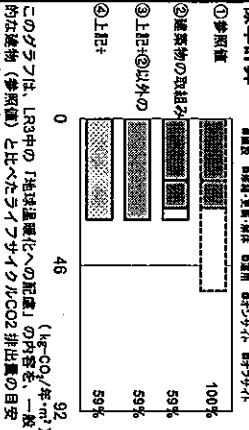
BEE=1.0



2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

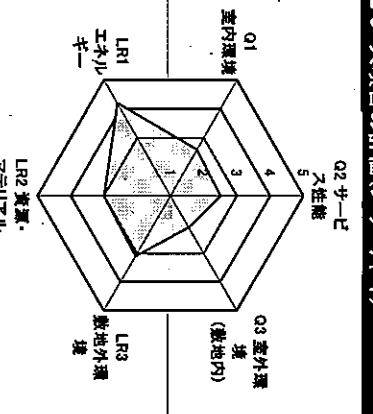
30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%★

①参照値
②建築物の取組値
③上E:②以外の
④上E+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的に建築物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価 (ルーターチャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

1	3.0	3.0	1.9	2.8
2				
3				
4				
5				

音環境 熱環境 光環境 空気環境

Q2 サービスタ性能 Q2のスコア = 2.5

1	2.1	3.0
2		
3		
4		
5		

操作性 耐用性 対応性

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.1

1	1.0	2.0
2		
3		
4		
5		

生物環境 まちなみ 地域性

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

1	3.0	3.0	3.0
2			
3			
4			
5			

建物外側の 自然エネルギー 採暖システム 効率的

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

1	3.0	3.0	3.0
2			
3			
4			
5			

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

1	3.0	2.0	2.0
2			
3			
4			
5			

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項

特になし

Q1 室内環境 特になし

Q2 サービスタ性能 特になし

Q3 室外環境 (敷地内) 特になし

LEED 特になし

LEED 特になし

LEED 特になし

■CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), R: Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版

■使用評価マニユアル CASBEEさいたま2016年版

貫光精機納倉庫

欄に数値またはコピートを記入

■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

スコアシート 実施設計段階

配慮項目

環境配慮設計の概要記入欄

評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
-----	------	-----	------	----

Q1 建築物の環境品質		2.4		2.6
1 室内環境		3.0	0.15	-
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-
1.2 遮音		3.0	0.40	-
1 開口部遮音性能		3.0	0.80	-
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-
1.3 吸音		3.0	0.35	-
2 温熱環境		3.0	0.50	-
2.1 室温制御		3.0	0.38	-
1 室温		3.0	0.25	-
2 外皮性能		3.0	0.38	-
3 ソーラ別制御性		3.0	0.20	-
2.2 湿度制御		3.0	0.30	-
2.3 空調方式		3.0	0.25	-
3 光・視環境		1.9	0.25	-
3.1 屋光利用		3.0	0.30	-
1 屋光率		3.0	0.60	-
2 方位別開口		3.0	-	-
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-
3.2 グレサ対策		1.0	0.30	-
1 屋光制御		1.0	1.00	-
3.3 照度		3.0	0.15	-
3.4 照明制御		1.0	0.25	-
4 空気質環境		2.6	0.25	-
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-
4.2 換気		2.3	0.30	-
1 換気量		1.0	0.33	-
2 自然換気性能		3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-
4.3 運用管理		2.0	0.20	-
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-
Q2 サービス性能		2.1	0.30	2.5
1 機能性		2.1	0.40	2.1
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40	-
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-
3 内装計画		1.0	0.33	-
1.3 維持管理		2.5	0.30	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-
2.4 信頼性		2.0	0.20	-
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-
3 電気設備		3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	3.0	0.30	-	3.0
		2 空間の形状・自由さ	3.0	0.60	-	3.0
		3.2 荷重のゆとり	3.0	0.40	-	3.0
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	3.0	0.40	-	3.0
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	3.0
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	3.0
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	3.0
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	3.0
		6 パワーツェンスへの確保	3.0	0.20	-	3.0
	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	3.0	
3 地域性・アイデンティティへの配慮		2.0	0.30	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	2.0	
3.2 敷地内温暖環境の向上	2.0	0.50	-	2.0		
LR 建築物の環境負荷低減性	LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制	0.40	-	-	4.2
		2 自然エネルギー利用	0.13	-	-	3.0
		3 設備システムの高効率化	0.63	-	-	5.0
		4 効率的運用	0.25	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	1.00	-	-	3.0
		4.1 モニタリング	0.50	-	-	3.0
		4.2 運用管理体制	0.50	-	-	3.0
		集合住宅の評価	0.50	-	-	3.0
		4.1 モニタリング	-	-	-	-
		4.2 運用管理体制	-	-	-	-
LR2 資源・エネルギー	1 水資源保護	1.1 節水	0.30	0.20	-	3.0
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用	0.40	-	-	3.0
		1 雨水利用システム導入の有無	0.60	-	-	3.0
		2 雑排水等利用システム導入の有無	0.70	-	-	3.0
		2 非再生性資源の使用量削減	0.30	-	-	3.1
		2.1 材料使用量の削減	0.60	0.10	-	2.0
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	0.20	0.20	-	3.0
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	0.20	0.20	-	3.0
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	0.20	0.20	-	3.0
		2.5 持続可能な森林から産出された木材	0.10	0.10	-	3.0
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	0.20	0.20	-	4.0		
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含む材料の使用	0.20	-	-	3.0	
	3.2 フロン・ハロンの回避	0.30	0.30	-	3.0	
	1 消火剤	0.70	-	-	3.0	
	2 発泡剤(断熱材等)	1.00	-	-	3.0	
3 冷媒	1.00	-	-	3.0		
LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮	ライオサイクルCO2排出率を59%に抑制	0.30	-	-	3.1
		4.6	0.33	-	4.6	
		2 地球環境への配慮	0.33	-	-	2.0
		2.1 大気汚染防止	0.25	-	-	3.0
		2.2 温暖環境悪化の改善	0.50	-	-	1.0
		2.3 地域インフラへの負荷抑制	0.25	-	-	3.0
		1 雨水排水負荷低減	0.25	-	-	3.0
		2 汚水処理負荷抑制	0.25	-	-	3.0
		3 交通負荷抑制	0.25	-	-	4.0
		4 廃棄物処理負荷抑制	0.25	-	-	2.0
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	騒音	0.33	0.40	-	3.0
		振動	0.33	0.33	-	3.0
		悪臭	0.33	0.33	-	3.0
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	1 風害の抑制	0.40	0.40	-	3.0
		2 砂塵の抑制	0.70	-	-	3.0
		3 日照障害の抑制	0.30	0.30	-	3.0
	3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.6	0.30	-	1.6
		2 屋外の建物外観による夜間光(レリーフ)への対策	0.20	0.70	-	1.0
		1.0	0.20	-	1.0	
		3.0	0.30	-	3.0	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2015年版

1 建物概要

建物名称	賛光精機機庫	BEE	0.9	BEEランク	★★
------	--------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライトサイケルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア 4.6 + 1.3 = 5.9					
重点項目の各スコアへの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常に良い 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライトサイケルCO2の削減

スコア平均 4.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 4.6

<配慮した内容を記述> 分別回収する為の専用廃材置場を設置している。倉庫であるため環境悪化の施設がない

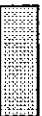
(2) 緑の保全・創出

スコア平均 1.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 1.0

<配慮した内容を記述>
25%の敷地内緑化を確保している。



:入力欄